

さあ、災害に備えよう

1 ハザードマップなどで自宅(周辺)の状況は確認できていますか?

本書を読み始める前に、避難が必要かどうか、ハザードマップなどを見て、自宅やその周辺に浸水や土砂災害のおそれがあるかを確認します。**各ハザードマップで確認** ハザードマップはP.27のポケットにハザードマップは町ホームページ、防災安全課窓口で掲載・配布しています。収納



2 避難する場所は決まっていますか?

避難する場所とその優先順位を決めておきましょう。あわせて、避難先までの経路も考えておきます。自宅が安全が確保できる場合は、自宅にとどまり安全を確保することも可能です。**P.4・P.22～25参照**



3 「避難の目安」は決まっていますか?

避難情報や大雨警報などの気象情報を入手して、どの情報が出されたときに避難を始めるか、自分や家族に合った避難のタイミングを考えましょう。**P.4・P.6・P.9・P.11参照**

4 避難をするときの持出品リストはチェックしましたか?(非常用持出品)

非常用持出品を考えましょう。**P.5で確認**



5 共助の視点から地域に対しての行動を考えよう

近所に避難の呼びかけを行ったり、高齢者や障がい者など災害時に助けが必要な人を支援するなど、自分ができることを考えます。地域の中で話し合っておくことも大切です。**P.17～19参照**

本書を活用し、地震や風水害の状況を想定してみましよう。

地震の時	自宅周辺で起こりうる被害	
	避難する場所	
	避難のタイミング	
台風の時	自宅周辺で起こりうる被害	
	避難する場所	
	避難のタイミング	
長雨の時	自宅周辺で起こりうる被害	
	避難する場所	
	避難のタイミング	

風水害に備えては、P.14・15 わが家の風水害「マイ・タイムライン」に記入しましょう!
一度作れば終わりではなく、生活や周囲の変化に合わせて定期的に見直すことが大切です。